群馬女性射殺

車の遺体は元交際相手

「面会やめて」警察忠告

群馬県館林市小桑原町のディスカウントストア駐車場に止めていた軽乗用車内で同県大泉町寄木戸の職業不詳、鈴木千尋さん(26)が射殺された事件で、県警は21日、栃木県鹿沼市の路上に止めた軽乗用車内で同日朝に見つかった遺体の身元について、鈴木さんの元交際相手で職業不詳の男(39)と発表した。県警は拳銃自殺とみている。殺人容疑で逮捕状を取り男の行方を追っていた。

【田ノ上達也、尾崎修二、中津成美】

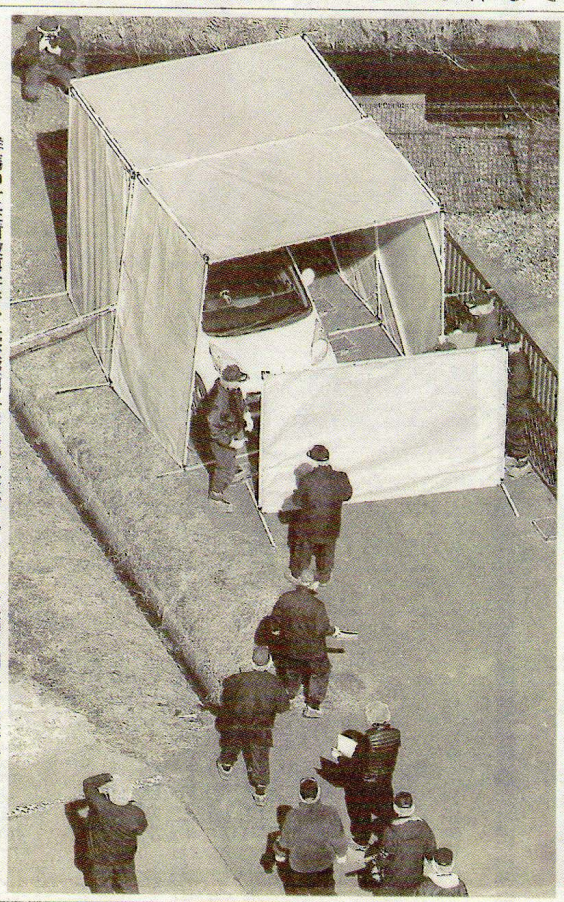
両県警によると、男の軽乗用車は同日午前8時50分ごろ近隣住民が発見。男は既に死亡しており、群馬県警は指紋から元交際相手と断定した。死亡推定時刻は20日夜～21日朝。車は鍵がかけられ、両側頭部に銃で撃ったような傷が計2カ所あり、運転席で拳銃1丁が見つかった。

鈴木さんは以前住んでいた栃木県佐野市内で昨年11月1日、男から暴行を受けたと栃木県警に相談した。男は同2日に暴行容疑で逮捕され、同22日に罰金刑を受け釈放。同県警はストーカー規制法に基づき文書で警告していた。こうした経緯などから、男が射殺事件にも関与しているとみて、群馬県警は20日に逮捕状を取って行方を追っていた。

両県警によると、鈴木さんは同12月3日に現住所に転居後、大泉町に住民基本台帳の閲覧制限を申請。一方で、同19、20両日、鈴木さんと父親が栃木県警佐野署に「直接会って話をする」と電話し、署員は「第三者を介した方がいい」などと説得した。だが、鈴木さんは応じず、同22日に佐野市の飲食店で鈴木さんと父親、男の3人が話し合いをした。この際、佐野署員が男をボディーチェックして凶器などを持っていないことを確認したが同席はしなかった。

栃木県警生活安全企画課は取材に「ストーカーに関わる面会ではなく、金銭トラブルという位置づけだったので、警察官が立ち会う必要はないと判断した。本人や家族が嫌だと思っていない以上、面会も止められなかった」と説明している。

射殺事件は2月19日に発生。鈴木さんは午後3時ごろ、運転席で頭や鼻から血を流しているのが発見され、群馬県警は殺人事件とみて県警館林署に捜査本部を設置。司法解剖の結果、両側頭部に傷が2カ所あり死因は銃弾による脳挫滅だった。



群馬の女性射殺事件で、元交際相手の男の遺体が見つかった車両を調べる捜査員ら＝栃木県鹿沼市で21日午後0時15分、本社ヘリから手塚耕一郎撮影

避難徹底／心理士と面会／治療義務づけ

加害者の再犯防止策

栃木県警は昨年11月に男を暴行容疑で逮捕し、釈放時にはストーカー規制法に基づく警告もしていたが事件は防げなかった。2012年の神奈川・逗子ストーカー殺人事件でも、元交際相手の男は約1年半前に脅迫容疑で逮捕されたが、執行猶予付きの判決だったため3カ月後には社会復帰して、凶行に及んだ。ストーカー加害者の再犯を防ぐにはどうしたらいいのか。

「早期に対処しようとすれば適用罪名が軽いものになってしまうことが多く、結果として被害者から離す期間も短くなってしまう」

警察幹部はジレンマを吐露する。全国の警察が12年に摘発したストーカー事案1855件のうちストーカー規制法違反を適用したのは18%で残りは脅迫や住居侵入、傷害、暴行など。どの罪名であっても初犯で結果が重大でなければ今回同様、最終的に罰金刑にとどまり、短期間で社会に戻るケースが多い。

警察庁は来年度から加害者の治療に向けた研究を始めるが、幹部は「治療は任意で時間がかかる。現実的には被害者の避難を徹底するしかない」と話す。

治療に実績のある精神科医の福井裕輝さんが提案するのが逮捕後の勾留中の取り組みだ。福井さんは「死んでもいいと自暴自棄になっている相手に刑事罰や警告の抑止効果はない」とした上で、「全国の警察で導入される危険度チェック票を活用して凶悪性を見極め、再犯リスクが高い場合は心理士と面会させ、釈放後の治療につなげる仕組みがあればいい」と話す。

ストーカー相談を数多く受けているNPO「ヒューマニティ」(東京)の小早川明子理事長は「加害者の特性として、会えば執着心が復活する。被害者から頼まれても警察は面会を認めてはならなかった」と指摘。介入のポイントとして警告時を挙げ、「警告を受けた人にカウンセリングや治療を義務づけ、その後の様子を定期的に把握できるようにすれば対応できる」と話す。

【川辺康広、林奈緒美】

群馬の女性射殺事件の経緯

2013年	
11月1日	栃木県佐野市内で元交際相手の男に暴行を受け、鈴木さんが栃木県警に相談
2日	県警が男を暴行容疑で逮捕
	鈴木さんは群馬県大泉町内の知人方に避難
22日	男は罰金刑で釈放。栃木県警がストーカー規制法に基づき書面警告
12月3日	鈴木さんは大泉町に住民票を移し、住民基本台帳の閲覧制限を申請。栃木県警が群馬県警に引き継ぎ
5日	住民基本台帳の閲覧制限措置が完了
18日	群馬県警が鈴木さんの転居先を確認
20日	群馬県警が鈴木さんに電話で連絡
22日	佐野市内の飲食店で、鈴木さんと鈴木さんの父親が男と面会
2014年	
1月10日	栃木県警に鈴木さんから最後の連絡
24日	群馬県警が鈴木さんに2度目の連絡
2月19日	群馬県館林市内のディスカウントストアで鈴木さんの遺体を発見。群馬県警が県警館林署に捜査本部を設置
20日	鈴木さんの死因を銃弾による脳挫滅と断定
21日	栃木県鹿沼市内で鈴木さんの元交際相手の男の遺体を発見